



わたしたちの環境活動・SDGs活動



福井県立若狭高等学校

川崎ビートモス・D・シュンタ

福井県小浜市千種1丁目6-13

牡蠣殻で土壌の改良

～農耕放棄地 消してみた!!!～



僕たちは、若狭高校海洋科学科の二年生です。この研究をはじめようと思ったきっかけは、現在の日本では牡蠣殻が年間15万tも廃棄されていることを知ったことです。大量に廃棄されている牡蠣殻をつかい同じく問題になっている、農耕放棄地の土壌を改良しようと思いこの研究をしています。農耕放棄地は人から手放された畑であり土地が酸性化しており、作物などが育ちにくいです。その酸性化している農耕放棄地を再び使えるようにすることができるといのが牡蠣殻だと思い、実験をしてきました。今は商品化できるように他のpH調整剤とは違う牡蠣殻にしかないメリットを見つけるために頑張っています。